

「旧碓氷峠鉄道施設重要文化財追加指定記念イベント」事業計画

主催：NPO 法人碓氷峠歴史文化産研究会 安中市教育委員会

後援：鉄道遺産群を愛する会・上毛新聞社（申請中）

目的：「旧碓氷峠鉄道施設」国重要文化財追加指定に向けた調査・考察において、碓氷線（横川-軽井沢間）の標高差 552.5 m と立ちはだかる急勾配と輸送量の増大に対し、最新の技術で乗り越えようとした鉄道技術の変遷を改めて知ることができました。これらは日本の鉄道技術の歴史を知るうえで貴重な財産であり、新たに追加指定された構造物の「価値と意義」をイベント実施により理解を深める。

イベント①：現地説明会

日時：平成 30 年 11 月 4 日（日）9 時より ※雨天決行

集合場所：「峠の湯」駐車場

移動手段：大型バス・徒歩

行程：峠の湯（9:00 出発）→第 13 橋梁＝第 17 隧道＝第 16 隧道→旧熊ノ平駅＝めがね橋＝峠の湯（12:00 解散予定）

※----バス移動 / = …徒歩

内容：追加指定各構造物の解説

熊ノ平変電所本屋・下り押し下げ隧道・下り突込み隧道・第 16 号隧道第 17 号隧道・第 7 橋梁・第 13 橋梁 他

講師：NPO 法人 碓氷峠歴史文化産研究会 理事長 萩原豊彦

参加費：無料

定員：50 名（先着順）

問い合わせ・申込先：安中市教育委員会 文化財保護課 027 — 382 — 7622

11 月 1 日（木）締め切り

② 「旧碓氷峠鉄道施設重要文化財追加指定記念シンポジウム」

テーマ：～見る人の視点の高さ深さが価値を決める～

日時：平成 30 年 12 月 2 日（日）13:00 開場 13:30 開会

会場：安中市文化センター大ホール・エントランス

日程：13:00 開場

13:15 オープニング 上州松井田嶋太鼓演奏

13:30 開会

主催者挨拶

来賓挨拶

14:00 シンポジウム

16:00 質疑応答

16:15 閉会

パネリスト：西岡 聡（文化庁調査官）

「追加指定における文化庁の視点」

高村 功一（歴史的建造物修復コンサルタント）

「建物・構造物の保存技術の視点から捉える」

小野田 滋（鉄道総研）

「鉄道技術史から見た碓氷線の価値」

コーディネーター：萩原 豊彦（NPO 法人碓氷峠歴史文化遺産研究会理事長）

参加費：無料

申し込み：不要（当日会場へお越しください。）

問い合わせ先：安中市教育委員会 文化財保護課 027-382-7622

◎ジオラマ展示同時開催（エントランスホール）

横川発電所・熊ノ平駅構内・丸山変電所・めがね橋・旧松井田駅・丸山変電所